

こんにちは。

新メカニズム情報プラットフォーム事務局です。

◇トピックス◇

■□ 政府機関の報道発表

□ 平成 28 年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の二次公募における第三回採択が決定しました（環境省）

□ 『日本の気候変動対策支援イニシアティブ～途上国のニーズに応じて～』の発表について（環境省）

■□ 国連気候変動枠組条約第 22 回締約国会議(COP22)、パリ協定第 1 回締約国会合(CMA1)及び京都議定書第 12 回締約国会合(CMP 12)の結果について（環境省）

□ 11/17 炭素市場プラットフォームに関するサイドイベントの開催報告（環境省）

□ 11/18 サイドイベント@ジャパンパビリオンの開催報告（OECC）

□ 11/9 UNFCCC 公式サイドイベントの開催報告、ブース出展報告（OECC）

■□ イベント・セミナー情報

□ アジア太平洋カーボン・フォーラム 2016 ブース出展・サイドイベント開催の報告

◆平成 28 年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の二次公募における第三回採択が決定しました（環境省）◆

途上国において優れた低炭素技術等を活用して温室効果ガスの排出削減を行い、二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM）に基づくクレジットの獲得を目指す「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業（JICA などと連携する事業を含む）」について、今般、1 件を採択しました。

採択案件の概要はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/103286.html>

◆『日本の気候変動対策支援イニシアティブ～途上国のニーズに応じて～』の発表について（環境省）◆

日本は、これまで気候変動分野において、我が国の技術や経験に基づき、様々な国際支援に取り組んできました。

全ての国が参加する枠組みであるパリ協定の実施に当たっては、国際的な協調の下、効果的な支援を展開していくことが重要です。このため、日本が実施している気候変動分野における主な途上国支援を取りまとめ、分かりやすく途上国等に示すためのイニシアティブを発表します。

今後、本イニシアティブに基づいて、日本の強みを活かしつつ、途上国のニーズに応じた支援を実施していくとともに、国際的なパートナーシップへの参加や、国内外の研究機関・支援機関等とも連携・協働し、パリ協定の実施を後押ししていきます。

本イニシアティブの詳細はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/103213.html>

◆国連気候変動枠組条約第 22 回締約国会議（COP22）、パリ協定第 1 回締約国会合（CMA1）及び京都議定書第 12 回締約国会合（CMP 12）の結果について（環境省）◆

モロッコ・マラケシュで 11 月 7 日（月）から 11 月 18 日（金）にかけて開催された国連気候変動枠組条約第 22 回締約国会議（COP22）、パリ協定第 1 回締約国会合（CMA1）及び京都議定書第 12 回締約国会合（CMP 12）の結果について、日本政府代表団による概要と評価はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/103279.html>

◆11/17 炭素市場プラットフォームに関するサイドイベントの開催報告（環境省）◆

11 月 17 日、モロッコのマラケシュで開催されている COP22 の日本パビリオンにおいて、「炭

素市場プラットフォームに関する COP22 サイドイベント」を開催しました。

本会合では、ドイツと日本が共同議長となり、6月16-17日に「炭素市場プラットフォーム第1回戦略対話」を東京で開催したことを受けて、その概要の紹介や今後のプラットフォームの方向性等についての議論が行われました。

第2回戦略対話は、イタリアとドイツが共同議長となり、2017年にイタリアで開催される予定です。

サイドイベントの結果概要はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/103254.html>

サイドイベントにおける発表資料はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.oecc.or.jp/cop22-jp/event/detail/17/01.html>

◆11/18 サイドイベント「JCM プロジェクト実施に係る進捗と成果」の開催報告 (OECC) ◆

環境省、海外環境協力センター (OECC) は、11月7日～18日にモロッコ・マラケシュで開催された COP22 において設置されたジャパンパビリオンにおけるサイドイベントとして、「JCM プロジェクト実施に係る進捗と成果 (The JCM: Achievements and current progress of project implementations)」を開催しました。当日は約60名の各国の政府関係者や専門家が参加しました。

JCM は国際的な市場メカニズムのひとつとして活発に運用されており、日本とパートナー国 (16 か国) とが協力して構築、実施してきました。本サイドイベントでは、JCM パートナー国であるインドネシア、カンボジア、チリ、モンゴル政府からパネリストを迎え、JCM 実施に係る進捗や期待について議論するとともに、国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) 事務局からは市場メカニズムに係る交渉の最新の状況についての紹介が行われました。

セッションサマリー、キーメッセージはこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.oecc.or.jp/cop22-jp/event/detail/18/03.html>

◆11/9 サイドイベント「アジアの低炭素化の促進：国及び地域による気候変動計画と市場メカニズムに関する経験」の開催報告、ブース出展報告（OECC）◆

環境省、国立環境研究所（NIES）、マレーシア工科大学（UTM）、OECC は、11月7日～18日にモロッコ・マラケシュで開催された COP22 の UNFCCC 公式サイドイベントとして、「アジアの低炭素化を促進する：国及び地域による気候変動計画と市場メカニズムに関する経験（Promoting Low Carbon Asia: National and Local Experience on planning and market mechanisms）」を開催しました。当日は約 60 名の各国の政府関係者や専門家が参加しました。

パリ協定後、国家レベルによる NDC 等の策定が進む一方で、都市レベルでも低炭素都市構築のための計画づくりが進んできています。本サイドイベントでは、こうした流れを把握しつつ、都市レベルでの取組に焦点を当て、特に日本の JCM 都市間連携、国立環境研究所等を中心としたアジア太平洋統合評価モデル（AIM）等を用いた計画づくりなどの実例が紹介されました。また、パネルディスカッションでは、今後のさらなる低炭素化、あるいは脱炭素化に向けた動きを加速化するための方策について議論が行われました。

UNFCCC Climate Change Studio による動画（英語）はこちらをご覧ください。

⇒ <https://youtu.be/0qKNWAQ0gog>

アジェンダ、発表資料はこちらをご覧ください。

⇒

http://www.mmechanisms.org/info/event/details_161109COP22officialsideevent.html

OECC は COP22 会場 Blue zone 内に展示ブースを出展し、JCM に係る各種資料を展示するとともに来場者に対する情報提供を行いました。また、各国の JCM プロジェクトをビデオスライドショーにより紹介しました。来場者からは、JCM の進展やプロジェクトの実施状況などに対して高い関心が寄せられました。

また、前回ドイツ・ボンで開催された SB44 から、会議のペーパーレス化を促進するため、touch-to-collect technology と呼ばれる技術が導入されています。各展示ブースに電子データのタッチポイントが設置され、当該ツールを用いて電子データにて資料を配布しました。配布データは UNFCCC ウェブサイト（英文）からダウンロードできます。

⇒ https://seors.unfccc.int/seors/reports/exhibits_list.html?session_id=COP22

◆アジア太平洋カーボン・フォーラム 2016 ブース出展・サイドイベント開催の報告◆

9月5日～7日、韓国・済州島において、アジア太平洋カーボンフォーラム（APCF）（主催：アジア開発銀行、国際排出量取引協会、国連気候変動枠組条約事務局、公益財団法人地球環境戦略研究機関）が、世界グリーン成長週間（GGGWeek）2016 との平行開催という形で開催されました。

世界グリーン成長研究所が主催する GGGWeek には、5 日間で 50 か国以上から 500 名以上が参加しました。OECC は GGGWeek2016 会場内に展示ブースを出展し、JCM に係る各種資料を展示・配布するとともに来場者に対する情報提供を行いました。

OECC の展示ブースには GGGWeek2016 に参加した政府関係者、開発銀行、国連機関の地域支部、検証機関が来訪し、JCM に対する要望、最新の動向、制度設計、JCM に参加するための要件等に関する意見や質問が寄せられました。

また、OECC は APCF サイドイベントとして、「アジア太平洋地域における JCM（The JCM in the Asia-Pacific Region）」を開催しました。当日は約 40 名の各国の政府関係者や専門家が参加しました。

本サイドイベントでは、JCM パートナー国であるモンゴル、パラオからパネリストを迎え、JCM 実施に係る進捗や期待について議論するとともに、OECC 及びアジア開発銀行からベトナム、モンゴル、モルディブ、タイにおける JCM プロジェクト開発事例を紹介し、アジア太平洋地域におけるプロジェクトの進捗を共有しました。

議事メモ、発表資料はこちらをご覧ください。

⇒ http://www.mmechanisms.org/info/event/details_APCF2016booth.html

主催イベント以外のサイドイベントについて、傍聴報告を作成しました。

－IETA 主催「航空部門ーグローバル市場メカニズムを通じたカーボン・ニュートラル成長の達成（“Aviation: Achieving Carbon Neutral Growth Through a Global Market-Based Measure”）」

－IETA 主催「中国 ETS：最新情報と今後の展開（“PR China National ETS: Latest Updates and Expectations”）」

傍聴報告はこちらをご覧ください。

⇒ http://www.mmechanisms.org/info/event/details_APCF2016booth.html

◆メールマガジン・その他問い合わせは、事務局までメールにてご連絡ください。

info@mmechanisms.org

◆メール配信停止ご希望の方は、以下のページの「配信停止」より手続きください。

<http://www.mmechanisms.org/newsletter/index.html>

■□発行・編集□■

新メカニズム情報プラットフォーム事務局

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 NP 御成門ビル 3 階

URL: <http://www.mmechanisms.org> / e-mail: info@mmechanisms.org

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。